

(2月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
だいこん		11,227	100	11,744	54	101	96	9	0.0	神奈川、千葉産中心の入荷で全体の約9割を占める。神奈川産は小玉傾向ではあるが、前年並みの出荷に回復。出荷ピークは3月まで続く見込み。品質は良好。千葉産は2月上旬から出荷が始まり中旬からピークに入る。サイズはL中心で前年並みの入荷見込み。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をやや上回る見込み。
にんじん		6,784	95	6,878	53	94	108	-	-	千葉、埼玉産中心の入荷で全体の約8割を占める。千葉産は肥大不足が影響し、入荷量は85～90%と前年を下回る見込み。埼玉産は前年並みの作付けで、入荷量も前年並みとなる見込み。全体の入荷量は前年を下回り、価格も前年を下回る見込み。
はくさい		9,847	99	11,332	29	95	58	-	-	茨城産中心の入荷で全体の6割を占める。茨城産の入荷量は2月上旬までは1月と同じペースでの入荷が見込めるが、中旬以降は徐々に減少。2月としては80～90%と前年を下回る見込み。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を下回る見込み。
ほうれんそう		1,900	105	2,164	299	90	354	4	0.1	群馬、埼玉を中心とする関東産が市況をリードする。埼玉産は1月下旬から入荷量が増加。2月も順調な出荷が見込まれる。群馬産も作付けが増えており、入荷は前年を上回る見込み。全体の入荷量は前年を上回り、価格は前年を下回る見込み。
キャベツ類		12,716	97	13,059	54	91	95	-	-	愛知、千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。愛知産は1月の入荷で前年を下回ったが、2月は前年並みに回復する見込み。サイズは平年に比べやや小ぶりである。千葉産は産地リレーが順調で入荷量は前年並みの見込み。全体の入荷量は前年を下回り、価格も前年を下回る見込み。
ねぎ		4,583	105	4,607	145	70	234	41	0.0	千葉、埼玉産中心の入荷で全体の7割を占める。千葉産は1月に続き、2月も潤沢な入荷が見込まれ、前年を上回る見込み。品質は良好。埼玉産も生育・肥大とも良好で、入荷量は前年を上回る見込み。全体の入荷量は各産地とも出回り順調で前年を上回り、価格は高値だった前年を大きく下回る見込み。

(2月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
レタス類		7,024	102	6,869	195	100	244	-	-	静岡、香川産中心の入荷で約5割を占める。静岡産は低温と干ばつの影響により、少な目の出荷が続いていたが、2月には回復する見込み。香川産は1月の入荷が前年比70%と少なかった。2月に入ってから収量の回復は見込めず前年を下回る見込み。全体の入荷量は前年を上回り、価格は前年並みの見込み。
きゅうり		4,909	103	5,167	330	88	365	-	-	千葉を中心とする関東産と高知などの暖地が市況をリードする。千葉産は1月が晴天に恵まれたため、生育は順調。作付けも前年並みで、2月も順調な出荷が見込まれる。高知産も天候に恵まれ、2月も前年を上回る出荷が見込まれる。全体の入荷量は関東を中心に生育順調なことから前年を上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。
なす		1,617	101	1,778	416	100	415	-	-	高知、福岡産中心の入荷で全体の約8割を占める。高知産は11月、12月の日照時間が少なく、出荷量は低迷している。2月もこの傾向は変わらず、不作だった前年並みの入荷見込み。福岡産も曇天が続いたことから出荷量は伸びず、2月は平年を下回る出荷となる見込み。全体の入荷量は不作だった前年をやや上回り、価格は前年並みの見込み。
トマト		4,754	97	4,942	381	101	359	-	-	愛知、熊本の暖産が市況をリードする。愛知産は着果順調で肥大も問題ないことから2月は前年並みの入荷を予想している。熊本産は抑制物が後半になり入荷は減少するが、代わって促成物が増えてくる。2月の入荷量は前年並みと見込まれる。全体の入荷量は厳冬期を避けた作型が多く前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。
ピーマン		1,291	95	1,299	679	97	668	-	-	宮崎、高知産、茨城産中心で全体の約9割を占める。宮崎産は定植時期の天候が悪く、年内の出荷は平年の70%と少なかった。年明けからは回復基調にあるが作付けの減少もあり、平年を下回る見込み。高知産は着果が安定しており前年並みの入荷が見込まれる。茨城産は1月の好天により温室物順調であるが、通常の作型が厳冬期を避け、ピークが2月後半となるため入荷量は前年を下回る見込み。全体の入荷量は前年を下回り、価格も前年を下回る見込み。

(2月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
ばれいしょ		7,506	100	7,755	114	124	123	-	-	北海道、鹿児島産中心の入荷で全体の9割を占める。北海道産は在庫量が平年並みで計画どおりの出荷見込み。鹿児島産は生育が10日程遅れているが、出荷には問題なく平年並みの入荷が見込まれる。入荷は前年並みで、価格は安値だった前年を大きく上回る見込み。
たまねぎ		8,589	100	9,147	104	88	104	-	-	北海道中心の入荷で全体の約9割を占める。北海道産は2Lの割合が少なく前年より小ぶりである。1月よりも入荷量は減ってくるが2月は前年並みの入荷見込み。全体の入荷量は前年並み、価格は需要が弱く、前年を下回る見込み。